ALINCO

作業連絡用無線システム
特定小電力ハンディトランシーバー
（総務省技術基準適合品）

DJ-M10
取扱説明書

RoHS

アルインコのトランシーバーをお買い上げいただきましてありがとうございます。本製品の機能を充分に発揮させ、効果的にご使用いただくため、この取扱説明書をご使用前に最後までお読みください。アフターサービスなどについても記載していますのでこの取扱説明書は大切に保管してください。また、補足シートや正誤表が入っている場合は、取扱説明書と合わせて保管してください。ご使用中の不明な点や不具合が生じたとき、お役に立ちます。本製品は免許・資格不要の特定小電力無線電話として、各種通信にお使いいただけます。

本製品は別売の親局（DJ-M1R ／ M2R）と組み合わせて使用する複数同時通話子機です。同時通話にはオプションのイヤホン、イヤホンマイク、ヘッドセットなどが必要です。

アルインコ株式会社

目次

◆◆◆ 安全上のご注意◆◆◆

本製品を正しく安全にお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損失を未然に防止するために必ずお読みください。誤った使い方で生じる内容を図記号と共に説明しています。その表示と意味は次のようになっています。

表　示	表示の意味
警 告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
注 意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

表　示	表示の意味
	しなければならないことを告げるものです。
	してはいけないことを告げるものです。

天災や人災、不測の故障などで生じた損害につきましては、弊社は一切その責任を負いかねますので、予めご了承ください。

警告

■ 使用環境・条件

本製品を使用できるのは、日本国内のみです。国外では使用できません。
This product is permitted for use in Japan only.

本製品を人命救助などの目的で使用して、万一、故障・誤動作などが原因で人命が失われることがあっても、製造元および販売元はその責任を負うものではありません。

本製品どうし、または他の無線機とともに至近距離で複数台使用しないでください。お互いの影響により故障・誤動作・不具合の原因となります。

本製品を何らかのシステムや電子機器の一部として組み込んで使用した場合、いかなる誤動作・不具合が生じても製造元および販売元はその責任を負うものではありません。

弊社指定以外のオプションや他社のアクセサリー製品を接続しないでください。故障の原因となります。

自動車などの運転中に使用しないでください。交通事故の原因となります。
運転者が使用するときは車を安全な場所に停めてからご使用ください。携帯型無線機を運転者が走行中に使用すると道路交通法違反で罰せられます。

電子機器の近くでは使用しないでください。電波障害により機器の故障・誤動作の原因となります。

内部から漏れた液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。

航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、中継局周辺では使用しないでください。
運行の安全や無線局の運用、放送の受信に支障をきたしたり、各種機器が故障・誤動作する原因となります。
病院や医療機関では、医療機器などに支障がないか十分に確認の上、管理者の許可のもとご使用ください。
無線機を使用したことによって、いかなる誤動作・不具合が生じても、当社は一切その責任を負いかねますのでご了承ください。

本製品は防爆仕様ではありません。引火性ガスが発生する場所では使用しないでください。静電気などによる発火事故の原因になります。

■ トランシーバー本体の取り扱いについて

イヤホンを使用する場合、あらかじめ音量を下げてください。聴力障害の原因になることがあります。
イヤホンを耳に装着する際、静電気が放電することがありますのでご注意ください。

本製品は調整済みです。特定小電力トランシーバーをユーザーが改造、変更することは法律で禁止されています。
サイズ違いのアンテナに交換することはできません。

布や布団で覆ったりしないでください。熱がこもり、ケースが変形したり、火災の原因となります。直射日光を避けて風通しの良い状態でご使用ください。

水をかけたり、水が入ったりしないよう、また故意にぬらさないようにご注意ください。故障の原因となります。

防浸保護には条件があります。
水などでぬれやすい場所（風呂場など）では使用しないでください。
故障の原因となります。

近くに小さな金属物や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。

外部電源には弊社指定オプションの AC アダプター（EDC-122)、シガーケーブル（EDH-33）をご使用ください。車のシガーソケットから直接 DC12V を接続しないでください。故障の原因になります。

■ 充電器の取り扱いについて

指定以外の電圧で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

充電器の AC プラグのコードをタコ足配線しないでください。加熱・発火の原因となります。

ぬれた手で充電器の AC アダプターに触れたり、抜き差ししないでください。感電の原因となります。

充電器の AC アダプターを、AC コンセントに確実に差し込んでください。AC アダプターの刃に金具などが触れると、火災・感電・故障の原因となります。

充電器の AC アダプターの刃に、ほこりが付着したまま使用しないでください。ショートや加熱により火災・感電・故障の原因となります。

■ 異常時の処置について

以下の場合は、すぐ本体の電源を OFF にして、電池を取り外し、充電器をご使用の場合は、AC アダプターを AC コンセントから抜いてください。異常な状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。修理はお買い上げの販売店、または当社サービス窓口にご連絡ください。お客様による修理は、違法ですから、絶対にお止めください。

■本体が熱くなったり、煙が出たとき。
■異音や異臭がしたとき。
■落としたり、ケースを破損したりしたとき。
■内部に水や異物が入ったとき。
■ AC アダプターのコードが傷んだとき（芯線の露出や断線など）

雷が鳴り出したら安全のため本体の電源を OFF にし、充電器をご使用の場合は AC アダプターを AC コンセントから抜いて、ご使用をお控えください。

■保守・点検

本体や充電器のケースは、開けないでください。けが・感電・故障の原因となります。内部の点検・修理は、お買い上げの販売店または当社サービスセンターにご依頼ください。製造番号ラベルをはがさないでください。製造番号がわからないと保証サービスをお受け頂くことができません。

⚠ 注 意

■ 使用環境・条件

テレビやラジオの近くで使用しないでください。電波障害を与えたり、受けたりすることがあります。

湿度の高い場所、ほこりの多い場所、風通しの悪い場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

ぐらついた台の上や傾いた所、振動の多い場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

直射日光があたる場所や炎天下の車内、車のヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所には置かないでください。内部の温度が上がり、ケースや部品が変形・変色したり、火災の原因となることがあります。

調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

電波を使用している関係上、無線機器の通話は第三者による傍受を完全に阻止することはできません。
そのため、機密を要する重要な通話に使用することはお勧めできません。

マイク部にシール類を貼らないでください。
相手に音声が聞こえなくなります。

■ トランシーバー本体の取り扱いについて

アンテナを誤って目などにささないようにご注意ください。

イヤホン / マイクロホン端子にはオプションのイヤホン / マイクロホン以外は接続しないでください。故障の原因となることがあります。

インバーターを搭載した電子機器や照明器具の周辺、ハイブリッドカーや電気自動車の車内や周辺ではノイズの影響で電波障害を受けることがあります。

磁気カードを無線機の近くに置かないでください。磁気カードのデータが消去されることがあります。

長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本体の電源を OFF にして、電池を取り外し、充電器をご使用の場合は AC アダプターを AC コンセントから抜いてください。

本製品は電源 OFF でも待機電流により電池が放電します。非常用に備蓄するなど長期間ご使用にならないときは電池を取り外してください。

衝撃や水分、異物の混入などによる故障の場合は、保証対象外になります。

■ 充電器の取り扱いについて

充電器の AC アダプターを抜くときは、コードを引っ張らないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。必ず AC アダプターを持って抜いてください。

充電器の AC アダプターを熱器具に近づけないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

■ 保守・点検

汚れた場合は柔らかいきれいな布で乾拭きしてください。
ベンジン、シンナー、アルコール、洗剤などを使うと外装や文字が変質する恐れがあります。
洗浄剤などを直接無線機に吹き付けないでください。機器内部に浸透し故障の原因となります。

イヤホンマイクなどのケーブルはときどき湿らせた布で拭いてください。汗や皮脂はケーブルを劣化させる原因になります。

お手入れの際は、安全のため必ず本体の電源を OFF にして、電池を取り外し、充電器をご使用の場合は、AC アダプターを AC コンセントから抜いてください。

製造番号ラベルをはがさないでください。製造番号がわからないと保証サービスをお受け頂くことができません。

◆◆◆ 使用前のご注意◆◆◆

■ ご使用環境

高温、多湿、直射日光の当たるところ、粉じんの多い場所は避けてお使いください。

■ 分解しないで

特定小電力トランシーバーの改造、変更は法律で禁止されています。分解したり内部を開けることは絶対にしないでください。

■ ご使用禁止場所

本機は総務省技術基準適合品ですが、使用場所によっては思わぬ電波障害を引き起こすことがあります。次のような場所では使用しないでください。
（航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、中継局周辺など）

日本国内でのみご使用ください。
This product is permitted for use in Japan only.

■ 通信距離

通信距離は見通しの良い場所では、親機を中心に約１００ｍですが、障害物や周囲の状況によって大きく変動します。通話しにくいときは、壁などの障害物が少ない所に移動すると通話しやすくなる場合があります。

- 人体を含む障害物やアンテナの向き、歩くなど移動による影響を受けると、通話距離は短くなることがあります。
- トンネルのような閉鎖的空間では UHF 電波伝播の特性により近距離でも通話できないことがあります。

■ 外郭保護性能について

付属の防水キャップまたは弊社指定の純正防水型アクセサリーを本体に装着することで、IP67 相当の耐塵防水になります。ただし、常に水しぶきや海水、油脂、薬品がかかる環境や、鉄粉が飛散するような環境での使用で発生する不具合については保証しておりません。また、すべての製品を出荷前に検査してその性能を保証するものではない「相当品」ですので、水没、流水での洗浄は絶対におやめください。濡れたときは乾いた布で手早く拭き取り、電池を抜いて内部をよく乾燥させてください。防水素材は時間が経つと劣化しますので、弊社では外郭保護性能についても製品と同じ保証期間とさせていただいております。

■ 作業連絡用無線と一般特定小電力無線

本機は作業連絡用無線の周波数を使用しています。このため周波数の違う一般特定小電力無線とは通話できません。

■バッテリーセーブについて

電池の消耗を防ぐ機能です。受信待ち受け状態で約５秒間キー操作がないとこの機能が動作します。信号を受信するか、キー操作がおこなわれるとバッテリーセーブは解除されます。バッテリーセーブ動作時に信号を受信すると、通話の始めが途切れる場合がありますが、異常ではありません。

■ 障害物

本機に採用されている電波は直進性が高いため、間にビルや橋脚、または山や丘陵等の障害物があると通信できる距離が短くなります。

機能と特長

- 親局（DJ-M1R/DJ-M2R）と併せて使用することで、最大４名で同時通話が可能
- ビジネスユースに耐える耐塵防浸（IP67 相当）＆頑丈ボディ
- 単三乾電池２本および専用リチウムイオンバッテリー対応のコンパクトボディ
- 外部電源端子より AC アダプターやシガーケーブルでの運用が可能
- 大きなスピーカー音量
- イヤホン断線検知機能＊
- 受信中の「サー」というバックノイズを低減するコンパンダー＊
- 受信終了時の「ザッ」音を低減するテールノイズキャンセラー

＊ 機能の説明は本書に記載しておりません。弊社ホームページをご覧ください。
ホームページ　http://www.alinco.co.jp/「電子事業部」

一部の通話モードや機能は本製品どうし、または対応した弊社機器間においてのみご使用いただけます。

1 お使いになる前に

本機をお使いになる前にお読みください。

・・・・・・・・ 付属品と取り付け方 ・・・・・・・・

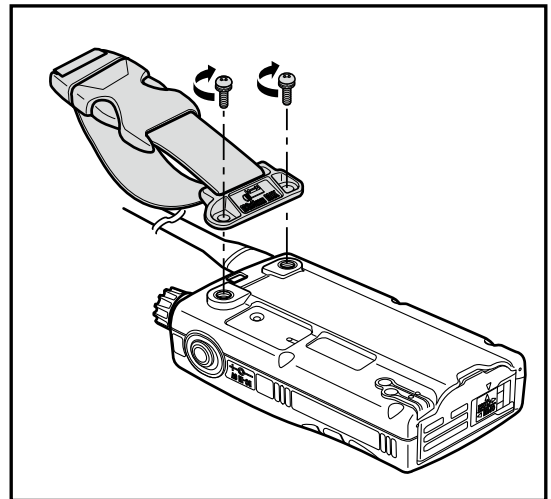
付属品をご確認ください。

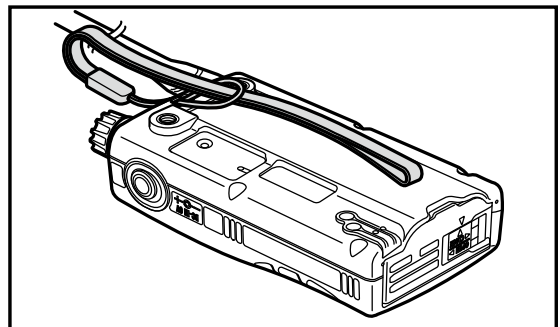
□ ベルトクリップ（ネジ２本）
□ ハンドストラップ
□ 取扱説明書（本書）
□ 保証書

保証書にご購入日の日付が記載されていないときは、領収書やレシートを保証書といっしょに保管してください。ご購入日を証明できる書類がないと保証サービスは無効になりますのでご注意ください。

■ ベルトクリップの取り付け

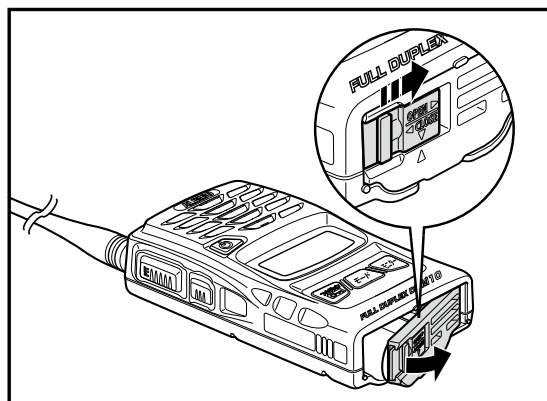
ベルトクリップを付属のネジ２本で本機の背面に取り付けます。

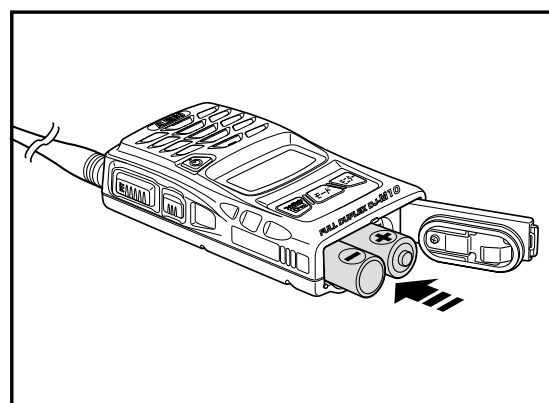
ベルトクリップでトランシーバーを体の横や背中に取り付けてください。イヤホンマイクなどをご使用のときは余ったケーブルを束ねてください。かがんだときにプラグやアンテナに過度な力が加わらないようご注意ください。定期的にネジにゆるみがないか点検してください。ベルトクリップは消耗品です。スペアー部品（EBC-50）として販売していますので、お買い求めの際は販売店にご相談ください。

■ ハンドストラップの取り付け

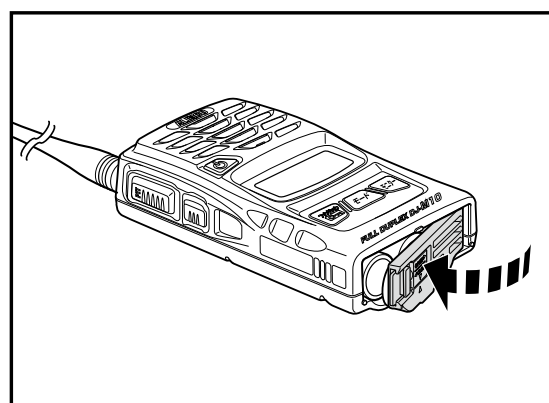
本機背面上部にあるストラップ用の通し穴に取り付けます。

・・・・・・・・ 電池の入れ方 ・・・・・・・・

単三形乾電池 2 本またはオプションのバッテリーパック（EBP-60）を装着します。

❶ カバーを開ける

ロックレバーを OPEN ▷側へスライドさせながらカバーを開けます。

❷ 電池を入れる

単三乾電池 2 本を、ケース内側の「＋ / −」の表示にしたがって装着してください。
バッテリーパックをお使いの際は、バッテリーパックの突起位置を確認して端子が奥になるように装着してください。

❸ カバーを閉める

カバーを本体上方向へ押さえて閉めてください。

注意

- ・＋ / −の向きを間違わないようにご注意ください。
- ・電池は同じ種類の新しいものをご使用ください。
  大容量アルカリ電池の使用をお勧めします。
- ・市販の充電池は形状や電気仕様が異なるためご使用になれません。
- ・本機を長期間使用しないときは電池を取り外してください。

充電方法

● バッテリーパックと充電器について

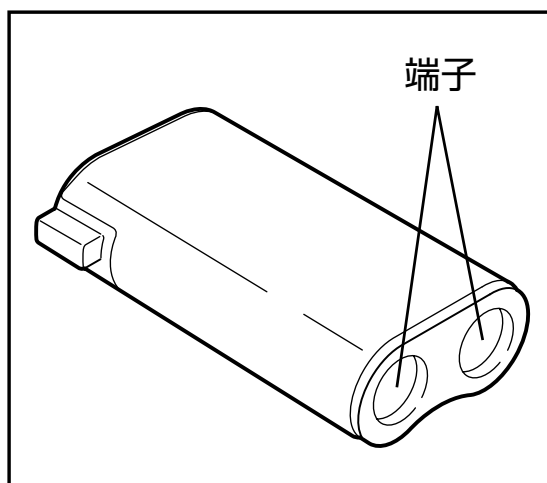
バッテリーパック、充電器および関連するオプション製品は下記のとおりです。

リチウムイオンバッテリーパック	：EBP-60（3.7V-1200mAh）
シングル充電スタンド	：EDC-131
シングル充電器セット	：EDC-131A（AC アダプター付属）
AC アダプター	：EDC-122
ツイン充電器セット	：EDC-167A（AC アダプター付属）
ツイン連結スタンド	：EDC-167R
連結用 AC アダプター	：EDC-162 （EDC-167A/R 連結時必要）

注意

・オプションの バッテリーパックは出荷時には十分には充電されていません。お買い上げ後に充電してからご使用ください。
・充電は 0℃～ 40℃の温度範囲内でおこなってください。
・バッテリーパックの改造、分解、火中・水中への投入は絶対にしないでください。発熱、破裂などの恐れがあり大変危険です。
・バッテリーパックの端子は絶対にショートさせないでください。機器の損傷や発熱による火災、火傷の原因になることがあります。
・継続的な充電や放電状態での放置はバッテリーパックの劣化を早める原因になることあります。
・バッテリーパックの保存は、-5℃～ 35℃の範囲で湿度が低く乾燥した場所を選んでください。それ以外の温度や湿度が高い場所では、液漏れや金属部分のサビの原因になりますので避けてください。
・バッテリーパックは消耗品です。所定の時間充電しても使用時間が著しく短い場合は寿命を迎えています。新しいものにお取替えください。

■ バッテリーパックの取り扱いについて

バッテリーパックを持ち運ぶときは端子をショートさせないようご注意ください。
大電流が流れて火災、火傷の原因になることがあります。

■ バッテリーパックの保管について

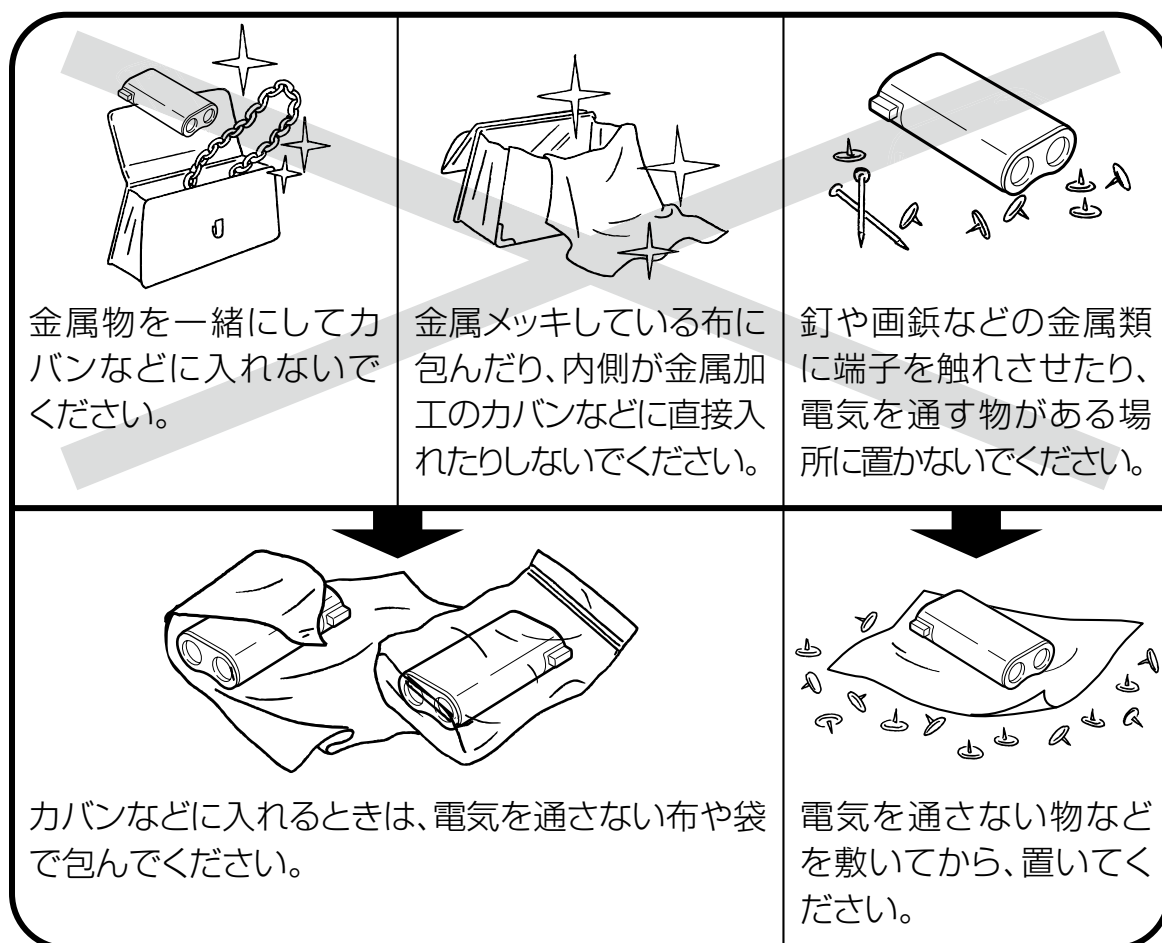
バッテリーパックを保管するときは、以下のことにご注意ください。

金属物を一緒にしてカバンなどに入れないでください。

金属メッキしている布に包んだり、内側が金属加工のカバンなどに直接入れたりしないでください。

釘や画鋲などの金属類に端子を触れさせたり、電気を通す物がある場所に置かないでください。

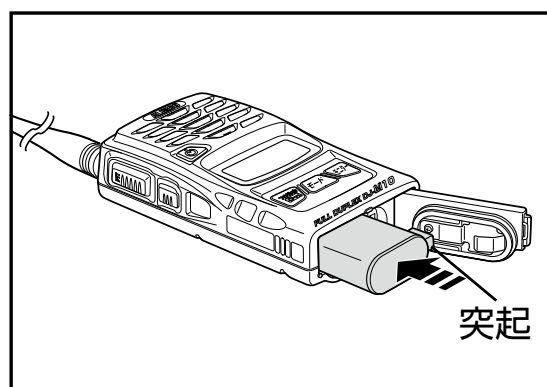
カバンなどに入れるときは、電気を通さない布や袋で包んでください。

電気を通さない物などを敷いてから、置いてください。

■ バッテリーパックの充電方法

● AC アダプターによる充電方法

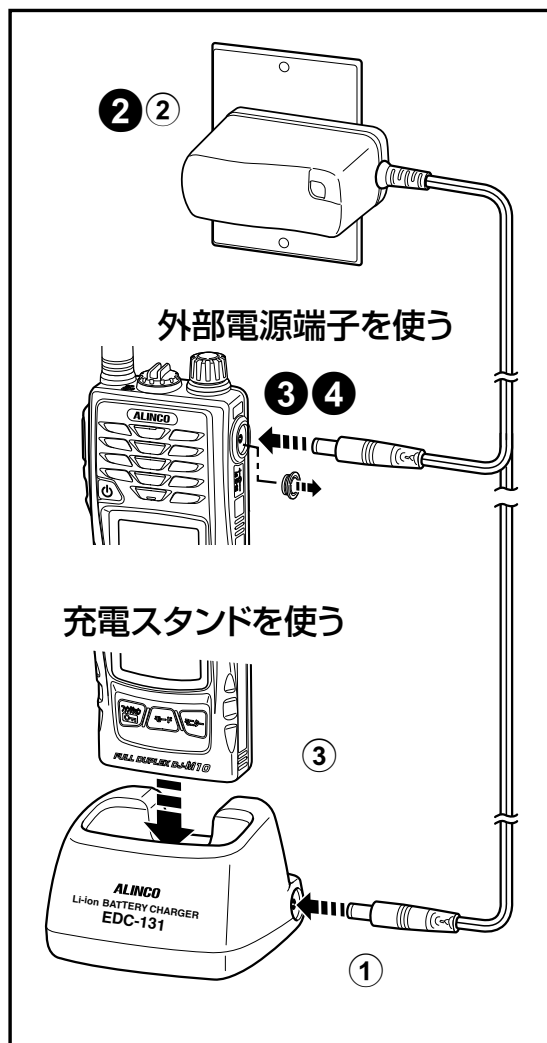
本機にはリチウムイオンバッテリーパック（EBP-60）用の充電回路が内蔵されています。

1 本機にバッテリーパックを装着します

バッテリーパックの突起位置を確認して、端子が奥になるように装着してください。

❷ AC アダプターを家庭用コンセント AC100V へ接続します

❸ トランシーバーの電源を切ります。

❹ 外部電源端子の防水キャップを取り外し AC アダプターのプラグを接続します。
充電が開始されトランシーバーのディスプレイに「CHArGE」が表示されます。
充電が完了するとディスプレイに「FULL」が表示されます。

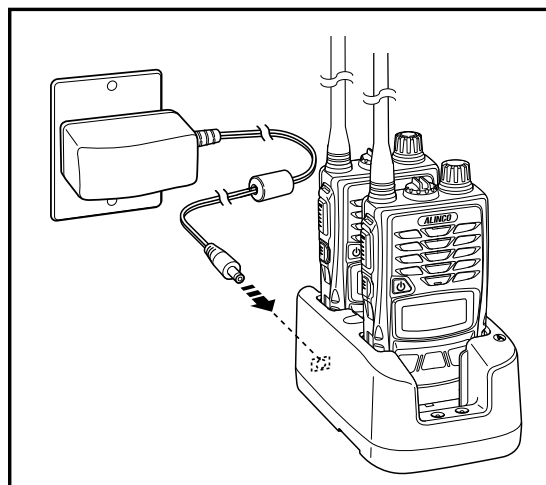
注意
トランシーバーの電源を入れたままでも充電できますが、充電中または充電完了をお知らせする表示がされません。
外部電源端子の防水キャップを取り外した場合は紛失しないようご注意ください。
外部電源を接続しているときは耐塵防浸にはなりません。

● シングル充電器セット（EDC-131A）の使用方法

① AC アダプターのプラグを充電スタンドの電源端子へ接続します。
② AC アダプターを家庭用コンセント AC100V へ接続します。
③ トランシーバーの電源を切って充電スタンドのポケットへ挿入します。
充電が開始されトランシーバーのディスプレイに「CHArGE」が表示されます。充電が完了するとディスプレイに「FULL」が表示されます。

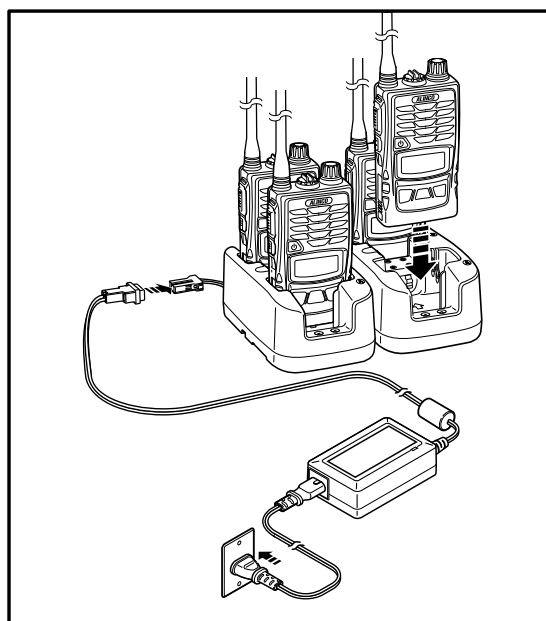
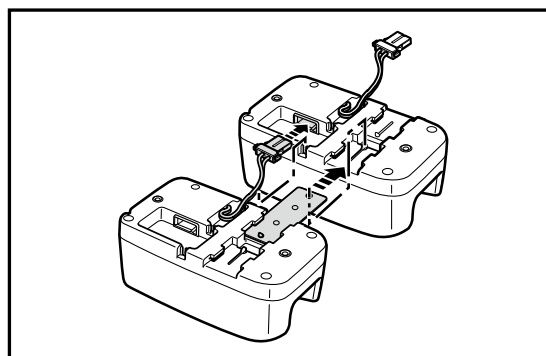
注意
充電器セット（EDC-131A など）に付属している AC アダプターは充電専用です。
送受信音声にノイズが混入するため通話にはご使用になれません。

● ツイン充電器セット（EDC-167A）の使用方法

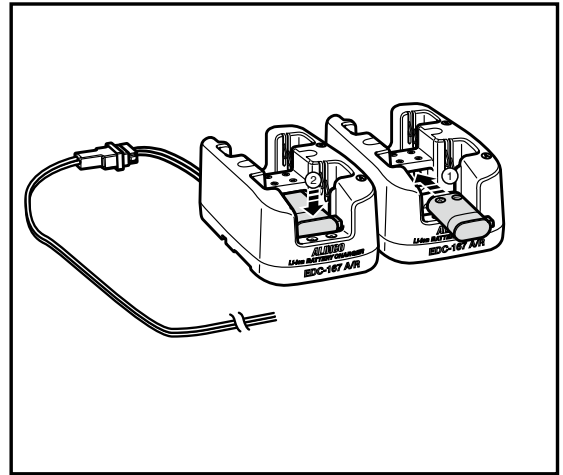
2台のトランシーバーを同時に充電できます。

① ACアダプターのプラグを充電スタンドの電源端子へ接続します。
② ACアダプターを家庭用コンセントAC100Vへ接続します。
③ トランシーバーの電源を切って充電スタンドのポケットへ挿入します。
充電が開始され充電スタンドの赤ランプが点灯するとともに、トランシーバーのディスプレイに「CHArGE」が表示されます。
充電が完了すると赤ランプが消灯し、トランシーバーのディスプレイに「FULL」が表示されます。

● ツイン連結スタンド（EDC-167R）の使用方法

充電スタンドを4台まで連結し、最大で8台のトランシーバーを同時に充電できます。

① 充電スタンドどうしを連結します。
充電スタンド裏面を連結プレートで接続します。
② 充電スタンド裏面のコネクタを接続します。
③ 一端の充電スタンドと連結用ACアダプター（EDC-162）のコネクタを接続します。
④ ACアダプターを家庭用コンセントAC100Vへ接続します。
⑤ トランシーバーの電源を切って充電スタンドのポケットへ挿入します。
充電が開始され充電スタンドの赤ランプが点灯するとともに、トランシーバーのディスプレイに「CHArGE」が表示されます。
充電が完了すると赤ランプが消灯し、トランシーバーのディスプレイに「FULL」が表示されます。

● バッテリーパック単品の充電方法

ツイン充電器（EDC-167A/R）を使用してリチウムイオンバッテリーパック（EBP-60）単品を充電できます。

① バッテリーパックの端子側を充電スタンドの矢印方向へスライドさせて装着します。
充電が開始されると充電スタンドの赤ランプが点灯し、完了すると消灯します。

メモ

- 空のリチウムイオンバッテリーパックを満充電するのに要する時間は約３時間です。
- 充電するときはトランシーバーの電源を切ってください。
- トランシーバーと充電器の充電端子はときどき乾いた布で掃除してください。汚れていると接触不良の原因になります。

注意

トランシーバーやバッテリーパックをツイン充電器の前方のポケットに挿入すると赤色ランプが点灯するが後方のポケットに挿入すると点灯しない、あるいはその逆の動作をすることがあります。
充電開始、完了を決定する回路の個体差によりこのような動作をすることがありますが異常ではありません。
充電器の赤色ランプが点滅したときは AC アダプターのプラグを接続し直してください。
点滅が続く場合はバッテリーパックが寿命を迎えているため新しいものにお取り替えください。

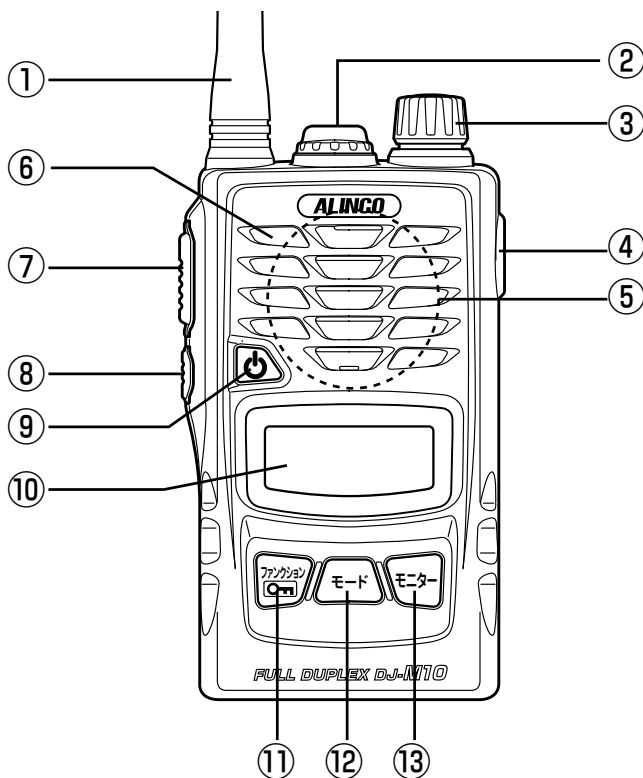
■ AC アダプターでの運用について

外部電源として AC アダプター EDC-122 を常用する場合は、過充電による劣化を防ぐためバッテリーパックは取り外しておくことをお勧めします。

AC アダプター EDC-122 で運用中に AC 電源（AC100V）が停電しその後復旧したときは、本機は自動的に停電前の状態に復帰します。

AC アダプターを使用しているとき送受信音声にノイズが混入する場合は、AC アダプターとトランシーバーを離したりコードの引き回しを変えてください。ノイズが低減することがあります。

各部の名前とはたらき

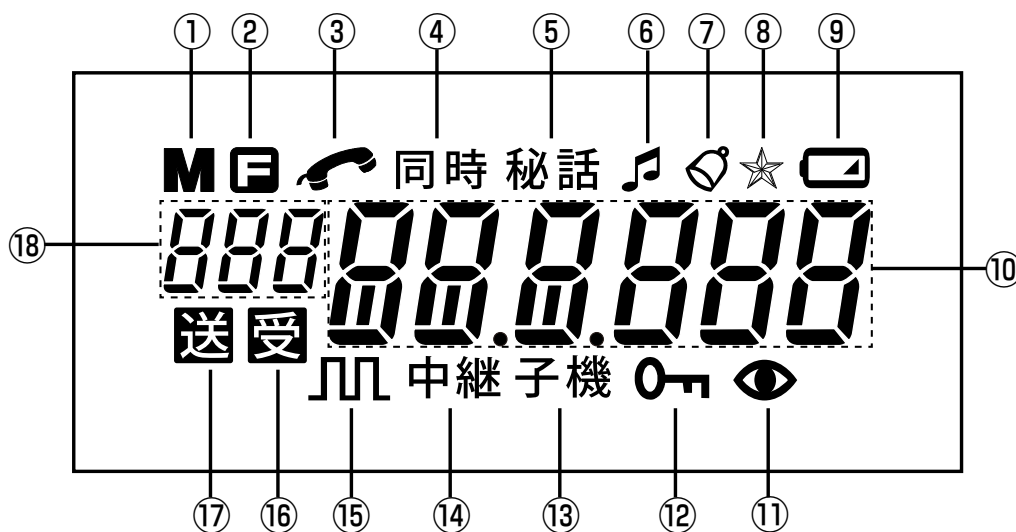
本機の各部の名前とそのはたらきを説明します。

	説　明	は た ら き
①	アンテナ	アンテナは外れないようになっています。
②	イヤホン／マイク端子	オプションのイヤホンマイクなどを接続します。接続するときはプラグを奥までしっかりとねじ込んでください。 使用しないときは防水のためキャップをねじ込んでください。
③	ダイヤル	チャンネル、音量、チャンネルグループ、個別番号の選択やセットモードの設定に使用します。ダイヤルを押すか回して音量の選択、F 点灯状態でダイヤルを押すとセットモードの設定ができます。
④	DC-IN	外部電源接続端子です。オプションのACアダプターやシガーライターケーブルを接続します。オプションのバッテリーパックを装着して充電することができます。
⑤	スピーカー	受信音が鳴ります。
⑥	マイク	送信するときに話します。マイクと口もとは約 5 センチ離してください。
⑦	[PTT] キー	送信するときは押しながらマイクに向かって話します。

	説　明	はたらき
⑧	[フック (A/B、サーチ)] キー	チャンネルグループ、個別番号変更時に使用します。
⑨	[電源 ⏻] キー	約 2 秒間押して電源を ON/OFF します。
⑩	ディスプレイ	チャンネルや音量、各種設定内容を表示します。
⑪	[ファンクション／ 🔑 (ロック)] キー	各種設定の開始に使用します。[フック] キーと同時に押しながらダイヤルを回すとチャンネルグループが変更できます。
⑫	[モード] キー	ダイヤルと同時に約 3 秒間押すと通話モードが切り替わります。
⑬	[モニター] キー	受信信号が弱く音声が途切れるときに使用します。[フック] キーと同時に押しながらダイヤルを回すと 4 者同時通話モードの個別番号、2 者同時通話モードのチャンネル番号が変更できます。

・・・・・・・ キー操作の表記について ・・・・・・・

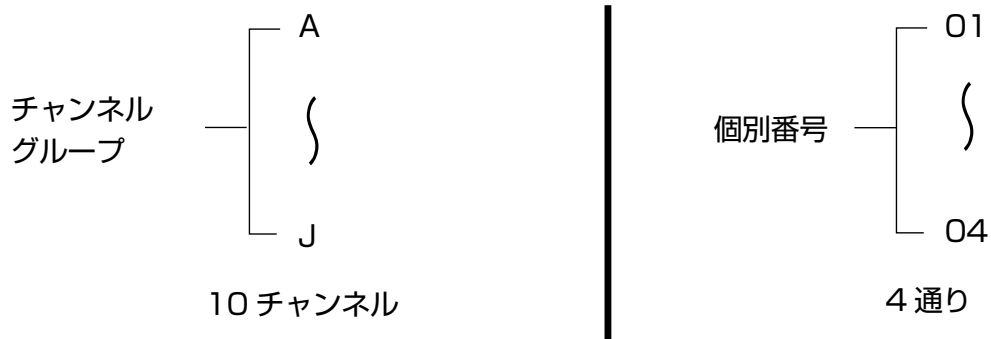
本書の説明で「押します」とはキーやダイヤルを押したあとすぐに指を離すことを指します。

「約 2 秒間押す」「長く押す」「長押しする」とは機能が動作するまで押し続けることを指します。

ディスプレイ

説　明	
①	使用しません
②	［ファンクション］キーを押すと点灯します。
③	使用しません
④	使用しません
⑤	秘話機能設定時に点灯します。
⑥	コンパンダー機能設定時に点灯します。
⑦	ベル機能設定時に点灯します。
⑧	二者同時通話モードで状態により点灯します。
⑨	電池電圧が低下すると点灯、点滅します。
⑩	チャンネル設定、セットモード項目を表示します。
⑪	使用しません
⑫	キーロック中に点灯します。
⑬	子機として使用する各モード時に点灯します。
⑭	使用しません
⑮	使用しません
⑯	受信中に点灯します。
⑰	送信中に点灯します。
⑱	セットモードの設定を表示します。

単三形乾電池を使用しての同時通話中にディスプレイ表示が薄くなることがありますが内部回路の動作仕様であるため異常ではありません。

■ チャンネル表示について

● 4者同時通話モード

本機とDJ-M1R/M2R（親局）に設定されているチャンネルグループ表示の対比一覧表です。最大4台の子機（例:A-01 ～ A-04）で同時通話できます。

子機（本機）	親局（DJ-M1R/M2R）	子機（本機）	親局（DJ-M1R/M2R）
A-01	A	F-01	F
A-02		F-02	
A-03		F-03	
A-04		F-04	
b-01	B	G-01	G
b-02		G-02	
b-03		G-03	
b-04		G-04	
C-01	C	H-01	H
C-02		H-02	
C-03		H-03	
C-04		H-04	
d-01	D	I-01	I
d-02		I-02	
d-03		I-03	
d-04		I-04	
E-01	E	J-01	J
E-02		J-02	
E-03		J-03	
E-04		J-04	

子機の個別番号は、重複しないようにに選択してください。

● 2者同時通話モード

ch01 ～ ch24 の 24 チャンネルを搭載しています。

親局を使用せず、本機どうしで同時通話できます。

・・・・・・・・・・・・・・ 基本操作 ・・・・・・・・・・・・・・

本機の基本となる操作を説明します。

■ 電源を入れる

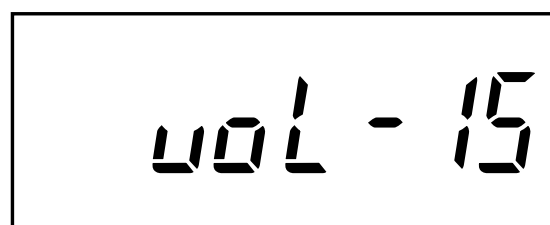
［電源⏻］キーを約 2 秒間押します。
電源を切るときも同じ操作をします。

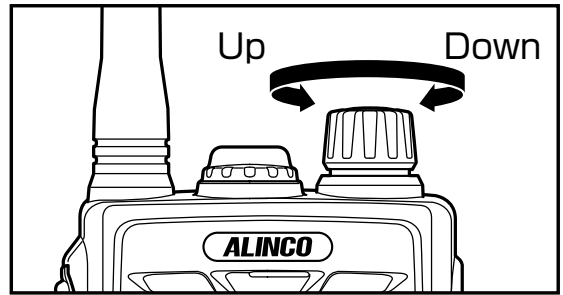
■ チャンネルを設定する

通話モードの切り替え（P.21）に従って通話モード及びチャンネルの設定を行います。

■ 音量を調整する

❶ ダイヤルを押す

ディスプレイに初期状態の音量レベル「voL-15」が表示されます。

❷ 音量レベルを調整する

音量レベルの表示中にダイヤルを回すと音量が増減できます。
音量調整は 0 ～ 30 までの 31 段階です。
[モニター] キーを押すと「ザー」というノイズが聞こえ音量調整の目安になります。

❸ 音量レベルを選択する

適切な音量レベルを選択し [PTT] キーを押して設定を完了します。
→受信待ち受けに戻ります。
各キーの無操作状態が約 5 秒続いたときは自動的に設定を完了します。

■ 受信する

信号を受信するとディスプレイの 受 が点灯しスピーカーから相手の声が聞こえます。
適切な音量レベルに調整してください。

■ 送信する

[PTT] キーを押しながらマイクに向かって話します。

■ 設定を完了する

各種設定を完了するときは [PTT] キーを押してください。

2 通話モードの切り替え

DJ-M10 で使用できる通話モードの概要と操作方法を紹介します。

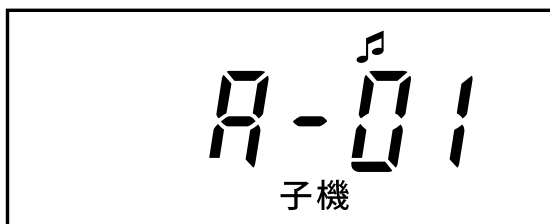
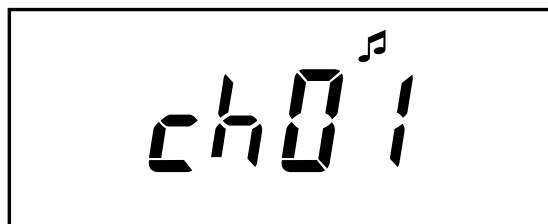
・・・・・・・・・ 通話モードの切り替え ・・・・・・・・・

工場出荷状態ではもっとも基本的な４者同時通話モードに設定されています。通話モードの切り替え方法について説明します。

● 通話モードを切り替える

[モード] キーと [ダイヤル] を同時に約３秒間押します。

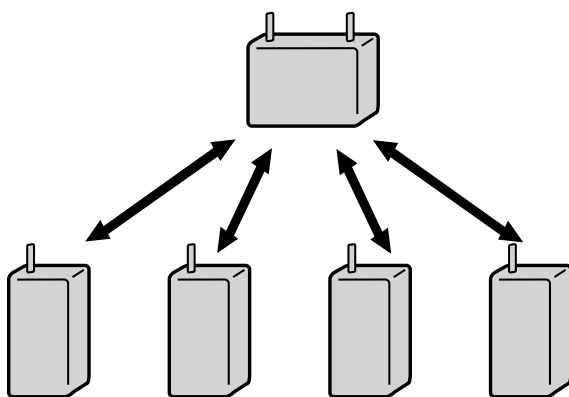
この操作で４者同時通話モードと２者同時通話モードに交互に切り替わります。

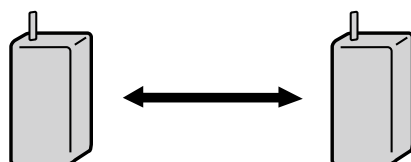
４者同時通話モード

２者同時通話モード

・・・・・・・・・ 通話モード ・・・・・・・・・

DJ-M10 に搭載されている通話モードの概要を紹介します
搭載している２種類の通話モードについて説明します。

両通話モード共に同時通話のため、必ずオプションの外部イヤホンか外部イヤホンマイクをご使用ください。
オプションのスピーカーマイクはハウリングが起こるためご使用になれません。

● ４者同時通話モード

親局（DJ-M1R/M2R）を使用して、本機 4 台で同時通話するモードです。

● ２者同時通話モード

親局（DJ-M1R/M2R）を使用せず、本機 2 台で同時通話するモードです。

各モードの操作方法

モードごとに操作方法を説明します。
搭載している２種類の通話モードについて説明します。

４者同時通話モード

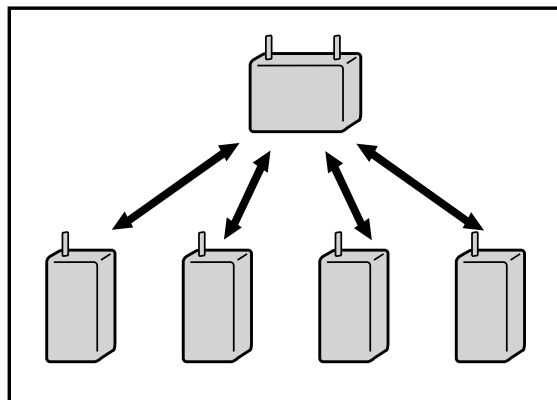
親局（DJ-M1R/M2R）を使用して４人で同時通話をおこなうモードです。
工場出荷状態で電源を入れると、このモードになります。

４者同時通話モードでは必ずオプションの外部マイク（ヘッドセットやイヤホンマイク）をご使用ください。スピーカーマイクはハウリングが起こるためご使用になれません。

❶ 外部マイクを接続する

本機にオプションのヘッドセットやイヤホンマイクを接続します。

❷ 電源を入れる

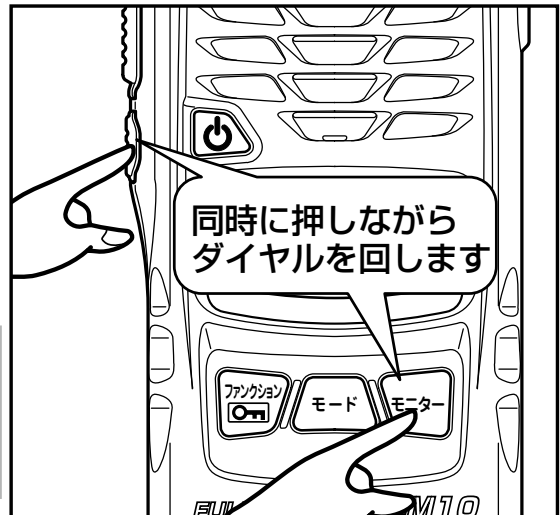
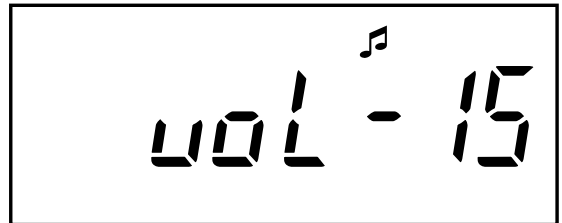
[電源 ⏻] キーを約 2 秒間押します。

❸ チャンネルグループを設定する

[フック] キーと [ファンクション] キーを同時に押しながらダイヤルを回してチャンネルグループを設定します。A ～ J の中から選択します。

本機と親局（DJ-M1R/M2R）のチャンネルグループ（A ～ J ）を合わせてください。

❹ 個別番号を設定する

[フック] キーと [モニター] キーを同時に押しながらダイヤルを回して個別番号を設定します。１～４の中から選択します。

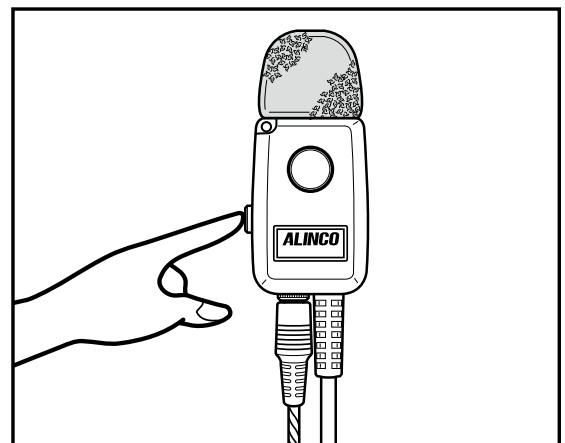
４者同時通話モードでは、４者で個別番号が重複しないように設定してください。重複すると正常な通話ができません。

❺ 音量を調整する

ダイヤルを押し、音量レベルが表示中にダイヤルを回します。適切な音量に調整してください。

❻ 送信する

本機に接続した外部マイクの［PTT］キーを押します。
送 が点灯します。外部マイクに向かって話します。

初期状態では PTT ホールド機能は有効になり、[PTT] キーを押すたびに送信、受信待ち受けになります。
ご使用になるオプションマイクによって形状や［PTT］キーの位置は異なります。

❼ 応答する

呼び出しに応答するときは本機に接続した外部マイクの［PTT］キーを押して応答すると同時通話状態となり 送 受 が点灯します。
外部マイクに向かって話します。

❽ 通話を終了する

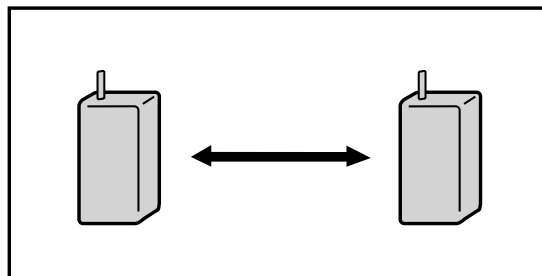
通話を終了するには外部マイクの［PTT］キーを押します。

2者同時通話モード

親局（DJ-M1R/M2R）を使用せず２人で同時通話をおこなうモードです。

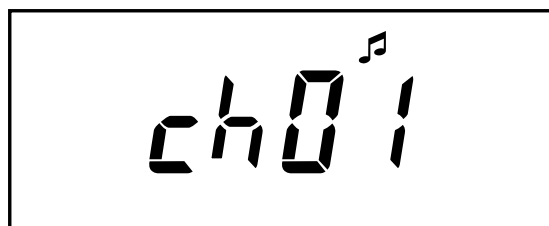
２者同時通話モードでは必ずオプションの外部マイク（ヘッドセットやイヤホンマイク）をご使用ください。スピーカーマイクはハウリングが起こるためご使用になれません。

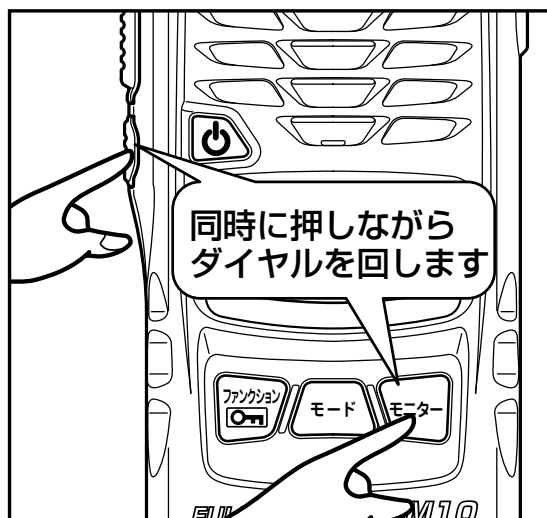
❶ 外部マイクを接続する

本機にオプションのヘッドセットやイヤホンマイクを接続します。

❷ 電源を入れる

［電源 ⏻］キーを約 2 秒間押します。

❸ 2 者同時通話モードに切り替える

[モード] キーと [ダイヤル] を同時に約３秒間押します。

❹ チャンネルを設定する

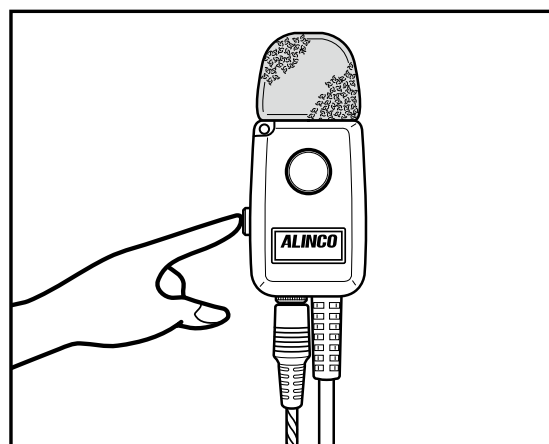
[フック] キーと [モニター] キーを同時に押しながらダイヤルを回してチャンネルを設定します。
ｃｈ０１～ｃｈ２４の中から選択します。

❺ 音量を調整する

ダイヤルを押し、音量レベルが表示中にダイヤルを回します。適切な音量に調整してください。

❻ 送信する

本機に接続した外部マイクの［PTT］キーを押します。
送 が点灯します。外部マイクに向かって話します。

初期状態では PTT ホールド機能は有効になり、[PTT] キーを押すたびに送信、受信待ち受けになります。
ご使用になるオプションマイクによって形状や［PTT］キーの位置は異なります。

❼ 応答する

呼び出しに応答するときは本機に接続した外部マイクの［PTT］キーを押して応答すると同時通話状態となり 送 受 が点灯します。
外部マイクに向かって話します。

❽ 通話を終了する

通話を終了するには外部マイクの［PTT］キーを押します。

3 便利な機能

本機を使用する際に便利な機能を紹介します。

・・・・・・・・ キーロック ・・・・・・・・

キーロックしておくと誤操作を防止できます。

■ 簡易キーロック（LoC-1）

🔑 キーを約 2 秒間押します。
→ 「LoC-1」が点滅したあと「🔑」が点灯します。
解除するには同じ操作をします。

■ 通常キーロック（LoC-2）

🔑 キーと [モード] キーを同時に約 2 秒間押します。
→ 「LoC-2」が点滅したあと「🔑」が点灯します。
解除するには同じ操作をします。

メモ キーロックしていても送信、音量調整、モニター操作はおこなえます。

・・・・・・・・・ 減電池お知らせ ・・・・・・・・・

電池の電圧が低下すると「▭」が点灯します。さらに低下すると「▭」が点滅します。
乾電池をご使用の場合は新しいものに交換してください。オプションのバッテリーパックをご使用の場合は充電してください。

本機の電源を切った状態で充電すると「CHArGE」を表示し「▭」が点滅します。満充電になると「FULL」を表示し「▭」が消灯します。
本機の電源を入れた状態で充電したときはチャンネルなどを表示しますが「▭」は点灯、点滅しません。バッテリーパックの電圧を検知して自動的に充電を開始しその後完了します。

・・・・・・ イヤホン断線検知 ・・・・・・

オプションのイヤホンマイクなどを接続して電源を入れた時に、イヤホンが断線していないか自動で検知をおこないます。
もし断線していれば異常であることをディスプレイ表示「EAr-nG」とビープ音でお知らせします。

・・・・・・ テールノイズキャンセラー ・・・・・

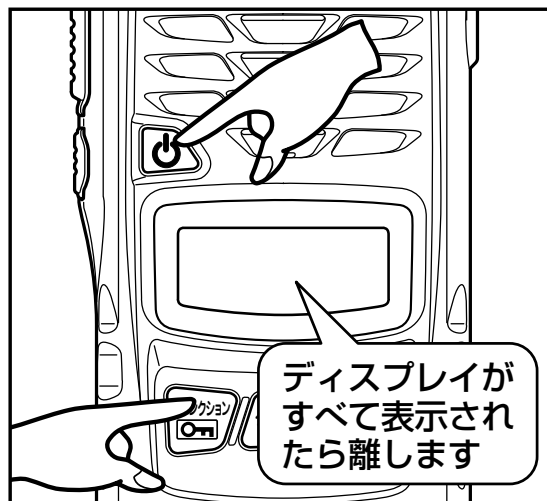
受信終了時の「ザッ」というノイズを低減する機能です。
本機能を搭載した弊社機器間の通話においてのみ有効です。

・・・・・・・・ リセット ・・・・・・・・

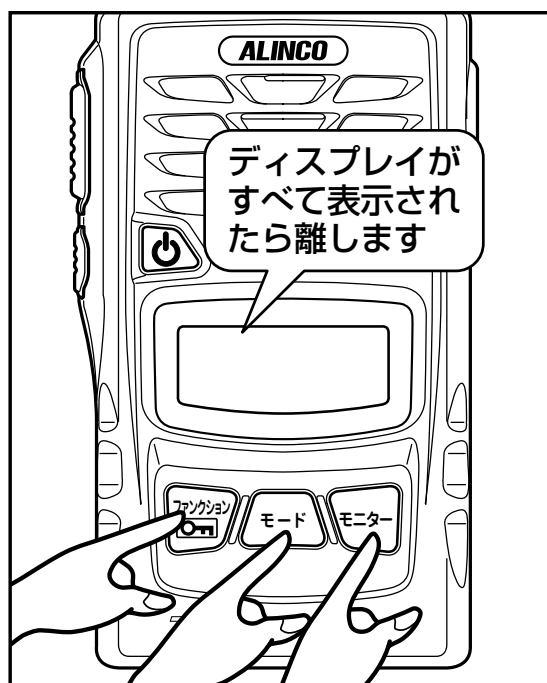
設定を初期化するときはリセットします。リセットには 2 つの方法があります。
　簡易リセット : 設定状態がわからなくなったときに初期化します。
　完全リセット : 工場出荷状態に戻ります。

■簡易リセット

[ファンクション] キーを押しながら電源を入れます。
→ ディスプレイが全点灯中にキーを離します。

メモ　標準セットモードの設定内容は初期化されますが、上級セットモードの設定内容は保存されます。

■完全リセット

[ファンクション] キー、[モード] キーと [モニター] キーを同時に押しながら電源を入れます。
→ ディスプレイが全点灯中にキーを離します。

メモ　完全リセットでは標準セットモードおよび上級セットモードのすべての設定内容は初期化されます。

各種機能を用途に合わせてカスタマイズすることができます。
本書ではよく使用する標準セットモードについて説明します。
本書に記載していないその他の標準セットモードおよび上級セットモードについては弊社ホームページをご覧ください。

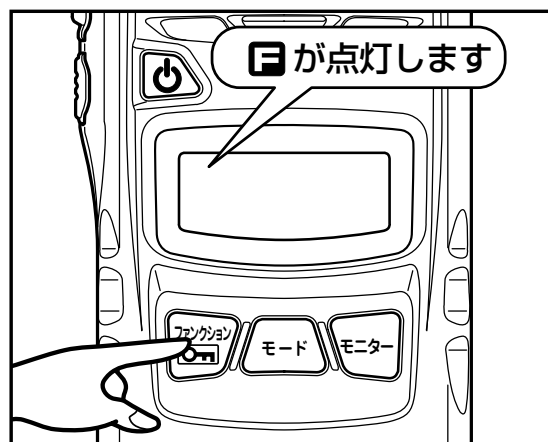
・・・・・・・・ セットモード一覧 ・・・・・・・・

	カスタマイズ項目	初期値	参照ページ
1	スケルチレベル	3	P. 32
2	操作音量	3	P. 33
3	ランプ	5（秒）	P. 33
4	PTT ホールド	ON	P. 34
5	コンパンダー	ON	弊社ホームページ
6	秘話	OFF	弊社ホームページ
7	サウンド	ON	弊社ホームページ
8	ベル	OFF	弊社ホームページ
9	エンドピー	OFF	弊社ホームページ
10	バッテリーセーブ	ON1	弊社ホームページ
11	オートパワーオフ	OFF	弊社ホームページ
12	電池電圧参照	−	弊社ホームページ
13	モニターホールド	OFF	弊社ホームページ
14	PTT オフ	ON	弊社ホームページ
15	外部音量変更	L	弊社ホームページ
16	コールバック	OFF	弊社ホームページ
17	VOX	OFF	弊社ホームページ
18	マイクゲイン	4	弊社ホームページ
19	VOX ディレイ時間	10	弊社ホームページ
20	イヤホン断線検知	ON	弊社ホームページ
21	秘話周波数	34	弊社ホームページ
22	秘話エンファシス	OFF	弊社ホームページ
23	別売りアクセサリーの PTT 対応	ALL	弊社ホームページ
24	M1 ボリューム切り替え	OFF	弊社ホームページ
25	4 者同時通話フリー個別番号	OFF	弊社ホームページ

5 ～ 25 の設定方法は本書に記載しておりません。弊社ホームページをご覧ください。
セットモードの設定内容は簡易リセットすると初期化されます。

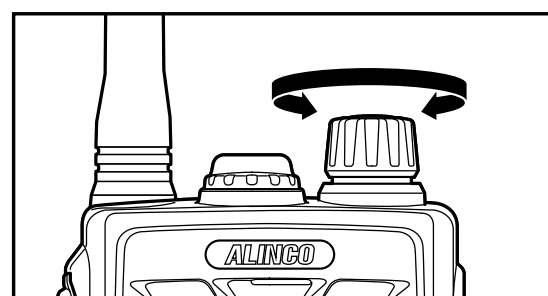
・・・・・・ セットモードの設定方法 ・・・・・・

❶ セットモードにする

[ファンクション] キーを押します。
→ F が点灯します。

❷ ダイヤルを押す

F 点灯中にダイヤルを押します。
→ セットモードの項目が表示されます。
ダイヤルを押すごとに項目が切り替わります。[フック] キーを押すと前項目に戻ります。

❸ 設定値を変更する

ダイヤルを回して ON ／ OFF を設定したり値を選択します。

❹ 設定を完了する

[PTT] キーを押して設定を完了します。

・・・・・・ スケルチレベル設定 ・・・・・・

スケルチとは受信時に信号が無いときの「ザー」という雑音を消す機能です。
初期状態では「3」に設定されています。設定値が大きいほど、強い信号でスケルチが開くようになります。

❶ スケルチレベルの設定をする

セットモードにして「SqL 3」を選択します。

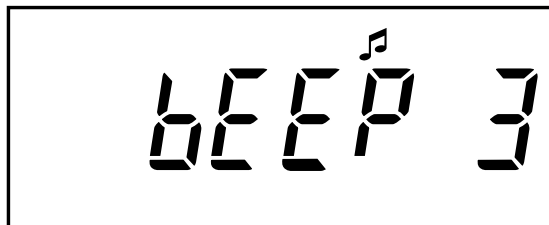
❷ ダイヤルを回しレベルを調整する

レベルは0～5の間で調整できます。

・・・・・・ 操作音量 ・・・・・・

本機から鳴るビープ音（操作音）の音量を調整する機能です。初期状態では「3」に設定されています。

❶ 操作音量の設定をする

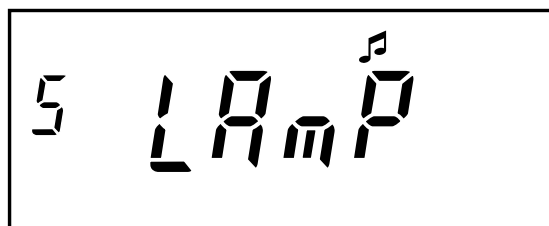
セットモードにして「bEEP 3」を選択します。

❷ 音量を切り替える

ダイヤルを回して操作音量を0～5から選択します。数値が大きいほど音量は大きくなり「0」に設定するとすべてのビープ音は鳴らなくなります。

・・・・・・ ランプ ・・・・・・

ディスプレイ照明を設定する機能です。初期状態では5秒に設定されておりキー操作をすると5秒間照明が点灯します。

❶ ランプの設定をする

セットモードにして「LAmP」を選択します。

❷ 照明の点灯時間を設定する

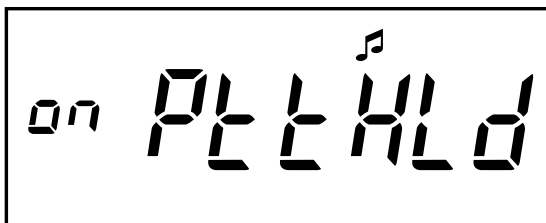
ダイヤルを回して照明の点灯時間を設定します。
OFF、5秒、ON（常時点灯）から選択します。

ディスプレイ照明を常時点灯させると電池の消耗が早くなります。

・・・・・・PTT ホールド・・・・・・

[PTT] キーを一度押すと送信を継続する機能です。もう一度押すと受信待ち受けに戻ります。
本機能を使用すると [PTT] キーを押し続ける必要がなくなります。
初期状態では ON に設定されています。

❶ PTT ホールドの設定をする

セットモードにして「PttHLd」を選択します。

❷ ON/OFF を設定する

ダイヤルを回して ON、OFF を選択します。

5 付　録

本機の補足事項を記載しています。

オプション一覧

EBP-60	リチウムイオンバッテリーパック
EDC-122	AC アダプター
EDC-131	シングル充電スタンド
EDC-131A	シングル充電器セット（AC アダプター付属）
EDC-167A	ツイン充電器セット（AC アダプター付属）
EDC-167R	ツイン連結スタンド
EDC-162	連結用 AC アダプター
EME-58	ストレートコードイヤホン　耳かけ型
EME-32A	イヤホンマイク　カナル型
EME-48A	イヤホンマイク　耳かけ型
EME-62A	咽喉イヤホンマイク　カナル型
EME-63A	ヘルメット用ヘッドセット
EME-64A	ヘッドセット
EME-36A	イヤホンマイク　カナル型
EME-59A	イヤホンマイク　耳かけ型
EME-65A	イヤホンマイク　耳かけ型
EME-69A	イヤホンマイク　オープンエア型
EME-70A	イヤホンマイク　カナル型
EDH-33	シガーケーブル
EDS-14	プラグ変換ケーブル
ESC-62	ソフトケース
EBC-50	ベルトクリップ（ネジ 2 本）

・・・・・・ 故障とお考えになる前に ・・・・・・

本機が故障かなと思ったら、まずこちらをお読みください。

症　状	原　因	処　置
電源が入らない。	電池の入れ方が間違っている。	電池を正しく入れ直してください。
	電池が消耗している。	新しい電池と交換してください。 充電池を充電してください。
音が出ない。 受信できない。	音量が低すぎる。	適切な音量に設定してください。
	相手とチャンネルが違う。	同じチャンネルに合わせてください。
	相手と距離が離れ過ぎている。	通信距離を目安に通信してください。
	チャンネルグループが違う。	チャンネルグループを合わせてください。
「ザー」という 雑音が出る。	スケルチレベルが低すぎる。	適切なスケルチレベルに設定してください。
電池の消耗が早い。	バッテリーセーブ機能が OFF になっている。	セットモードでバッテリーセーブ機能を ON にしてください。
	ランプ常灯機能が ON になっている。	セットモードでランプ常灯機能を OFF にするか、5 秒に設定してください。
キー操作できない。 チャンネルが変わらない。	キーロックされている。	キーロックを解除してください。
充電しない。	充電端子が汚れている。	充電端子の汚れを拭き取ってください。
	バッテリーが専用品でない。	バッテリーパック EBP-60 をご使用ください。

- 処置を施しても異常が続くときはリセット（初期化）してください。症状が回復する場合があります。
- キー操作を受け付けなくなったときは電池を入れ直すと症状が回復する場合があります。
- 電池が消耗していると、まれに誤動作することがあります。新しい電池に交換してください。

生産終了品に対する保守年限

生産終了後も 5 年間は補修用部品を在庫しています。不測の事態で欠品した場合には保守ができなくなることがありますのでご了承ください。

定 格

送受信周波数	413.70000 ～ 414.14375MHz
	454.05000 ～ 454.19375MHz
電波形式	F3E（FM）、F2D（FSK）
送信出力	1mW
受信感度	-14dBu 以下（12dB SINAD）
音声出力	本体スピーカー 400mW 以上、外部出力 80mW 以上
通信方式	復信方式
定格電圧	DC3.0V ～ 3.7V
外部電源端子	DC5.0V ～ 6.0V　EIAJ 区分 2
消費電流	送信時：約 110mA
	受信定格出力時（50mW）：本体 約 160mA、外部 約 130mA
	受信待ち受け時：約 70mA
	バッテリーセーブ時：約 20mA
動作温度範囲	-10℃～ +50℃（但し充電は 0℃～ +40℃）
寸法	高さ 98.8mm x 幅 55.0mm x 厚さ 29.3mm（最薄部 24.0mm） 突起物除く
	アンテナ長　163.5mm
重さ	120g（ベルトクリップ、電池含まず）

- 仕様、定格は予告なく変更する場合があります。
- 本書の説明用イラストは実物とは字体や形状が異なったり、一部の表示を省略している場合があります。
- 本書の内容を無断転載することは禁止されています。
- 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

ALINCO アルインコ株式会社 電子事業部

東 京 支 店 〒103-0027 東京都中央区日本橋2丁目3番4号 日本橋プラザビル14階 TEL.03-3278-5888
大 阪 支 店 〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4丁目4番9号 淀屋橋ダイビル13階 TEL.06-7636-2361
福岡営業所 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2丁目13番34号 エコービル2階 TEL.092-473-8034

アフターサービスに関するお問い合わせは

お買い上げの販売店または、フリーダイアル 0120 0120-464-007

全国どこからでも無料で、サービス窓口につながります。
受付時間／ 10:00～17:00 月曜～金曜（祝祭日及び 12:00～13:00 は除きます）
ホームページ http://www.alinco.co.jp/「電子事業」をご覧ください。

PS0903
FNEK-NI